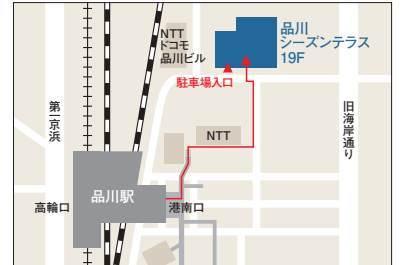


Profile

株式会社 丹青社 様

- 所在地: 東京都品川区港南1-2-70
品川シーズンテラス19F
- URL <http://www.tanseisha.co.jp>

博物館や大型商業施設、さらに空港や展示会など、私たちが日頃接する様々な場所、何気なく見ている「空間」。丹青社様はこれらの「空間づくり」の屈指のプロフェッショナルです。2015年秋、この丹青社様が半世紀以上本社を置いた上野から品川に移転し、自社のために「空間」を構築されました。『未来創造拠点』という新オフィスのテーマのもと、新しいオフィスには先進の映像システムが導入されました。



『未来創造拠点』というテーマに基づき、
コミュニケーション&コラボレーションを生み出す空間を構築。

導入の経緯

慣れ親しんだ上野から、進化を続ける品川に本社を移転。

例えば国立科学博物館新館、例えば新千歳空港ターミナルビル ショップ & レストラン、挙げだすときりがなく日本各地の様々な空間をデザインしてこられた丹青社様。その分野は文化空間はもとより商業、パブリック、ホスピタリティ、ビジネス、イベントなど多種多様です。

丹青社様は半世紀以上、本拠を上野に置いてこられました。2015年9月、東京の玄関口として進化し続ける品川に本社を移転されました。「地の利でいうと上野はたいへん便利でしたが、旧本社はビルが2棟、17フロアに

分かれており事業部門が数箇所に分散していましたので、今回の移転で1箇所に集約したかった。そこで、ワンフロアに社員を集約できる品川のオフィスに移転し、部門を超えた新たな交流を通して、情報やノウハウを交換することで提供サービスの価値向上を期待しています」と事業管理統括部長の菅野様は言われます。新しい本社は高層ビルの上層の1.5フロア分。ワンフロア1,500坪もの広大なオフィスには、丹青社様ならではの創造的な空間が完成しました。



▲「クリエイティブミーツ」ピラーの常設アートワーク コンテンツ制作 LUCENT 松尾高弘氏

システムの紹介

クリエイティブが出会う場の演出として、映像を効果的に使用。
そこには高解像度プロジェクターは欠かせません。

丹青社様が創造する空間は、まずアーキテクチャーが存在します。その造形に美術品やオブジェ、また商品などが展示され、それらの解説や空間の演出に映像が頻りに採用されます。「古くは大阪万博も手がけました。当時からするとプロジェクターの性能は格段に向上していると思います」と菅野部長様。「プロジェクターを決める要因は明るさや画質は当然として、丈夫であること」と言われます。今回新しいオフィスにご採用いただいた機種が1チップDLPレーザープロジェクターPT-RZ670J。「映像部門のチーフディレクターと一緒に代理店で複数の機種を見て、決めました」と話されます。「レーザーのクオリティが高く、文字がくっきり読めるし、画像ももちろんOKでした」とご評価いただきました。



▲「クリエイティブミーツ」ビラーの夜間と日中



▲内外のクリエイティブが出会う「クリエイティブミーツ」、日中はビラーに「主張しない映像」が浮かびます

「クリエイティブミーツ」に設置されたPT-RZ670Jがビラーに投写▶



このフロアで流れる映像はサーバーで集中制御▶



自社のプロモーション用にもPT-RZ670Jを活用。
2台使用し、ワイド映像を投写。

丹青社様自社のプロモーションのために新たにコーナーを設置しました。現在は新しいオフィスの紹介ですが、今後は丹青社様の数々の実績のPR映像を映し出す予定です。ここもビラーの映像同様、ガラスの奥にミラーを設置し、そこからの反射をガラス内側に写し込ませたオリジナルの演出方法で投写しています。



▲PT-RZ670Jは白い壁、天井に溶け込み存在感を抑えています

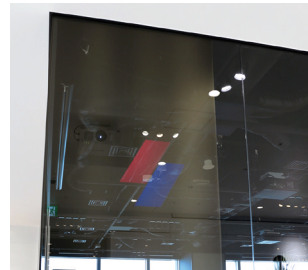


導入を終えて

仕事柄プロジェクターとは長い付き合いがあります。数多くのプロジェクターを見てきましたが、今回導入したPT-RZ670Jはコントラストがはっきりしていますし、何よりキレが良いと思います。レーザーなのでメンテナンスも楽になると期待しています。

「クリエイティブミーツ」表面にはロゴを投写。

受付正面「クリエイティブミーツ」のガラス面には、丹青社様のロゴや社名の由来である漢詩を投写。エレベーターを降りてお越しになるお客様へのサインポストとして機能させています。



▲ロゴ表示



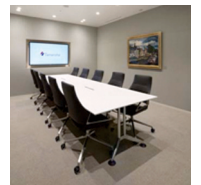
▲社名の由来である漢詩を表示



◀天井に埋込み設置されたPT-RZ670J

ペーパーレスを体現させるため、
打ち合わせブースにインタラクティブディスプレイを設置。

仕事の打ち合わせでは多くの資料が必要です。今までそれらは紙の書類としてストックされてきましたが、その量が膨大になり、保管場所にも困るようになりました。そこでかつての資料は順次デジタル化し、クラウドに保存。打ち合わせや会議の際は必要な資料をブースに設置したインタラクティブディスプレイに表示し、書き込みながら議事進行。インテリジェントなスマートオフィス創造にひと役買っています。



納入機器



1チップDLP®方式レーザープロジェクター
PT-RZ670J×8台



マルチタッチスクリーン液晶ディスプレイ
65v型 TH-65LFB70JX5台



ネットワーク液晶ディスプレイ
80v型 TH-80LFC70JX1台
65v型 TH-65LFC70JX16台
50v型 TH-50LFC70JX1台

■システム設計 株式会社 光和
パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
パナソニックシステムネットワークス株式会社



今回、取材にご協力いただきました

株式会社 丹青社
事業管理統括部 統括部長
菅野 敦夫 様

